

簡易土壌水分計でわかる黒大豆のかん水時期

農林センター 作物部

要旨

丹波黒大豆は夏季の干ばつで英着きが悪くなり大きく減収する。そこで、土壌の乾燥程度が一目でわかる簡易土壌水分計を用いて、効率的・効果的にかん水できる技術を開発した。

成果の概要

黒大豆は、開花期（8月上～中旬）だけではなく英伸長期（8月下～9月中旬）の干ばつでも減収する（図1）。

かん水時期は、ほ場に設置した簡易土壌水分計（図2）の指示値(cm)により判断する。このことで、ほ場ごとのかん水の優先順位が目視によって確認できる。

土壌の種類を問わず指示値が60cmを超えると減収するので、指示値が30cmを超えると灌水の準備をし、60cmに達するまでには灌水を行う(図3)。

簡易土壌水分計は小区画ほ場(15a程度)で2本、大区画ほ場(15a以上)で3本設置し、指示値が大きい方の水分計を目安にし、かん水する。

黒大豆を初めて栽培する人でも簡単に設置し、診断できるようマニュアルが作成されている。

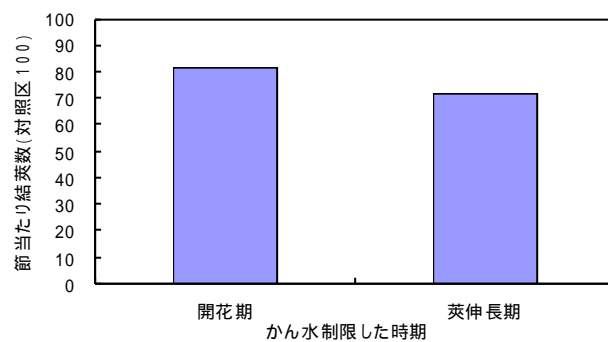


図1 土壌の乾燥が英数に及ぼす影響

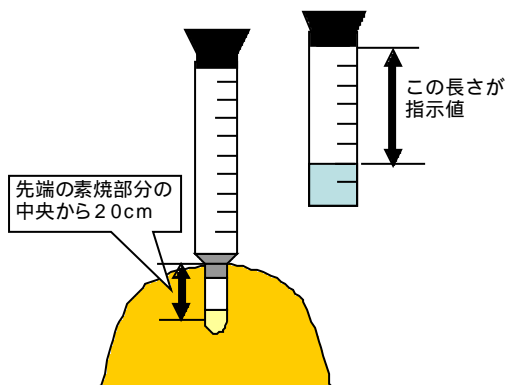


図2 簡易土壌水分計と指示値

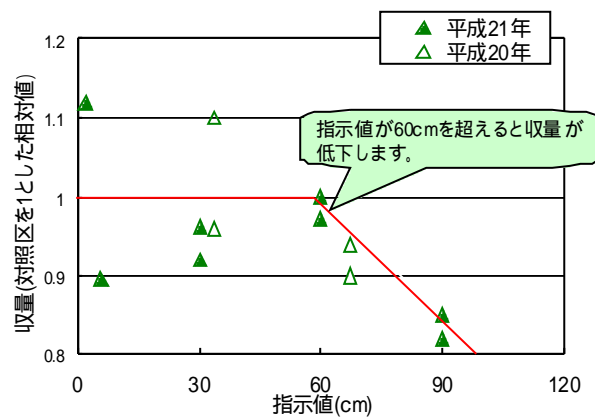


図3 指示値と収量との関係

(問合せ先：0771-22-5010)